



介護のICT化を福井で開始！新型コロナに立ち向かう医療・介護・福祉の現場を支援！



丹南・嶺南の介護施設で意見交換

感染防止対策に気を使う介護の現場。そこで**長年重荷**となってきたのがケア記録・介護報酬請求などの**文書作成業務**です。

介護士の方は現場でケア記録をとり、さらに事務所に戻ってから報酬請求文書に**同じ内容を転記**するなど大量の文書作成業務を求められてきました。結果として**残業が増える**、本来の**ケア業務に割ける時間が削られる**など県内の介護士や事業所から改善を求める声を多くお聞きしました。

そこで厚生労働省や福井県と協議して**国・県が県内介護事業所のICT(タブレット端末や介護ソフト)導入費用を半額補助**する事業を始めることとし、11月上旬県内全事業所に募集をかけたところ、数多くの応募がありました。全国では40番目の実施と遅いスタートですが、これで福井県内でも介護現場のICT活用が一気に進むこととなります。

すでに実施済の都道府県からは、介護士の負担軽減にとどまらず、利用者の反応などの情報が共有されてサービスの質が上がり、**利用者の満足度も高くなる**傾向が報告されています。また入所型施設でもシルエットカメラとタブレット端末でベッド上の利用者の位置を把握し落下事故を防止するなど、**安全性の向上も**報告されています。この補助事業は来年度以降も継続し、希望する全ての県内事業所に普及させていく計画です。

新型コロナウイルスの流行で医療・介護・福祉の現場は感染防止対策に神経を使う日々が続いています。ICT導入の他にも基準報酬のアップや支援交付金の増額など**処遇改善**も行い、**現場の負担軽減と人材充足**を図っていきます。

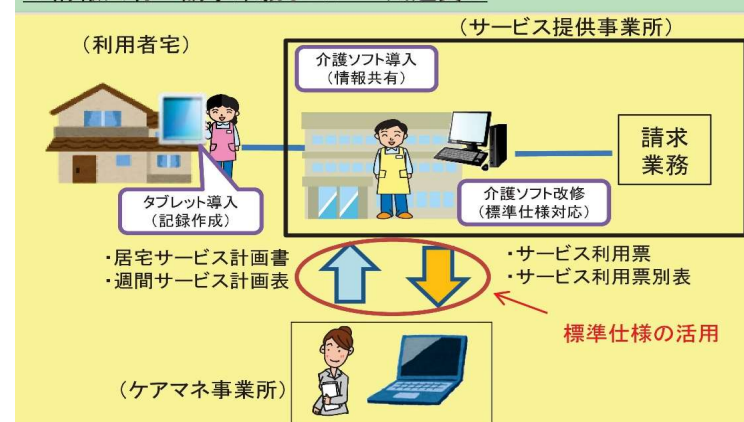


補助の対象や中身について説明

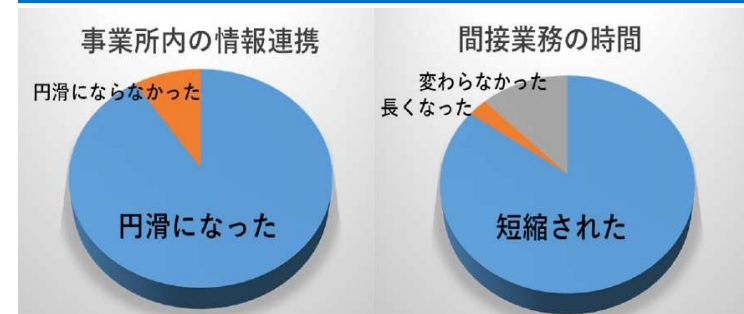


医療の現場も支援します！

事業所内のICT化(タブレット導入等)により、介護記録作成、職員の情報共有～請求業務までが一気通貫に



厚生労働省が行った導入事業所へのアンケート結果



立地地域の経済・雇用を強くする法改正を目指します！



12月3日原子力特別委員会



建設が中断している敦賀3・4号機予定地

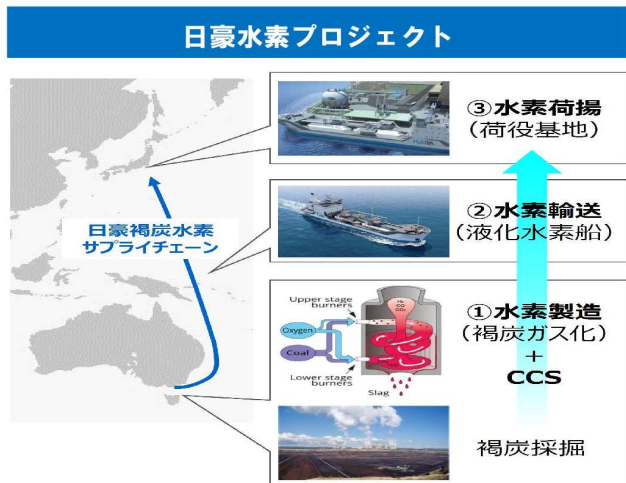
1月からの通常国会で「原子力発電所の立地地域振興に関わる特別措置法」が議題になります。立地地域の道路や学校整備に**国が割増し補助**をしたり**企業進出を税優遇**する福井にとって重要な法律です。2021年3月末で失効しますが、嶺南・丹南の全市町が延長を要望されており、国の補助率や対象を拡充した上でさらに10年延長する方向で与野党間の議論を始めました。いま私からは**優遇対象に再生エネルギーや水素など新エネルギー関連事業を加える**ことを与党側に提案しています。

原子力をめぐっては**裁判所の判断**で止まるリスクが顕在化し、**新規建設費の高騰**で投資回収が難しくなるなど先行きが極めて不透明です。地域の主力産業であり重要な稼ぎ頭ですが、**他にも強い産業**を育てていくことが地元の収入と雇用を守っていくため必要な状況です。

2021年オーストラリアから神戸に水素運搬船が到着します。燃料電池や直接燃焼による発電など、CO2を出さないエネルギー源として日本は官民協働で水素をさらに推していきます。ただガスに比べると燃焼速度が速いなど課題もあります。こうした技術的課題を解決し発電も行う研究開発拠点として敦賀3・4号機の予定地を活用するなど、**国策を地域に呼び込む立法措置が必要**です。日本原子力発電など地元原子力事業者が**新会社を立ち上げることも税優遇**されるため、**雇用の移行や増加を後押し**することが可能になります。

与党側は後ろ向きですが、今の原子力を取り巻く状況を見れば、**強い成長産業を複数育て、立地地域の稼ぎと雇用の種を増やしていく**政策をいま始めなければなりません。

原子力をめぐっては**地元政治家への不透明な資金還流**も問題になりました。こうした既得権に囚われず、**地域の稼ぎを増やすために**いま何が必要なのか。地元の豊かさを最優先に、法改正の議論をリードしていきます。



水素運搬船「ふろんていあ」が進水



オーストラリア・ビクトリア州 広大な褐炭採掘場

日豪水素プロジェクト 参加国・企業

Kawasaki Power Iwatani Marubeni

Australian Government Victoria METI NEDO

AUSTRALIAN EMBASSY TOKYO japan.embassy.gov.au 在日オーストラリア大使館

斉木武志プロフィール

1974年 5月13日生まれ
 1997年 東京大学法学部政治学科 卒業
 同年 NHK入局(アナウンサー)
 2009年 第45回衆議院選挙当選
 2017年 第48回衆議院選挙当選(2期)
 役職 党国対副委員長・福井県連代表
 衆議院経済産業委員会理事
 居住地 越前市本保町
 家族 妻、子供3人、犬3匹



最新情報はホームページ saikitakeshi.jp 新装オープン！

2020年のご声援ありがとうございました 2021年も良い年をお迎えください！

